

講演テーマ

「AI時代、
会計専門家の価値はどこにあるのか」

澤邊 紀生 氏

京都大学経営管理大学院 教授

日時:令和8年10月23日(金)18:00~19:30

会場:3号館8階 3081教室

■推薦者の言葉■

公開講義について、澤邊紀夫氏を研究・教育の2つの側面から推薦させていただきます。

[研究]

澤邊氏の研究領域は管理会計です。2015年以降、メインの研究テーマとされているのが、中小企業経営者の意思決定を支える会計専門家(主に税理士等の士業)がどのような知識体系を持っているのかという点です。中小企業が抱える課題は多様であり、個別の企業・業態ごとに市場環境も異なります。こうした状況において、会計専門家がどのように中小企業やその経営者の課題を抽出しているのか、これを臨床会計知と呼称し研究を続けられています。

会計専門家に期待される役割はAIの出現によって大きく変わろうとしています。講演頂く内容はAIによる変革の影響を受けつつある会計業界がどのように考えていくべきなのか、指針になりうると考えております。

[教育]

澤邊氏は上記研究を行いながら、臨床知を教育、実践するために、会計専門家に対するリカレント教育プログラムを設計し、実践されています。澤邊氏が設計した京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラムは2016年度より開始され、現在10期目140名を超える修了生を輩出しています。近年では修了生グループによって書籍が発行される等、ネットワークを活かしながら、会計専門家の役割を再度問い直すような活動がなされています。

大学機関における教育の在り方という観点からも澤邊氏による講演は示唆に富んでいると考えております。

(経済学部専任講師 飯塚 隼光)

主催:日本大学経済学部 産業経営研究所 問合せ:日本大学経済学部 研究事務課Tel: 03-3219-3309